

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 30 年 8 月 9 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	岡桃子

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
カナダ トロント, プリンズエドワード島
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
International Society for Applied Ethology (ISAE) 2018 への参加及びカナダの動物園訪問
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 30 年 7 月 25 日 ~ 平成 30 年 8 月 5 日 (10 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
プリンズエドワード大学

5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果: 長さ自由)

写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。

旅程

7/25 伊丹空港出発, 移動, トロントへ  
 7/26~28 動物園等への訪問  
 7/29 トロントからプリンズエドワード島へ移動  
 7/30~8/3 ISAE2018 参加  
 8/4・5 帰国

海外で行われる学会に単独で参加することは私にとって初めてであり、研究のことだけでなく海外での注意点や持ち物など新しく学ぶことがたくさんあった。また海外の研究者とポスター発表の場だけでなく、食事や休憩の時間にコミュニケーションをとり、様々な意見交換を行うことができた。26~28 日のトロント滞在期間中には、トロント動物園、レプリー水族館、ロイヤルオンタリオ博物館を訪れた。トロント動物園はとても広い敷地面積をもちながらも、環境エンリッチメントや保全教育にも積極的に取り組んでいた。アムールトラの飼育を 2018 年の夏から行うと聞いていたので、飼育施設や展示方法を見るのを楽しみにしていたのだが、私が行った時にはまだ建設中であったため残念ながらアムールトラを見ることはかなわなかった。



写真 1  
スマトラトラの絶滅に関するサイン



写真 2  
エンリッチメントアイテムで遊ぶホッキョクグマ

# 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



写真3  
アムールトラ展示予定地

水族館、博物館においても、ただ展示するだけではなく、子供たちが実際に触ったり動かしながら学ぶことができる体験スペースや、学芸員によるコーナーなど教育方面に重点を置いているように感じた。



写真4 学芸員による解説



写真5 川の流れについて操作しながら学ぶ

30日から8月3日のISAE2018への参加はとても有意義なものとなった。単身参加であったためか、多くの方から積極的に声をかけていただき、研究についてはもちろん、英語でのコミュニケーションの勉強になった。ポスター発表では同じように常同歩行について研究している方や来園者による影響を研究している方等、数多くの研究者とディスカッションを行った。日本と海外の動物園での飼育環境の差に多くの方が関心を示し、日本の動物園ならではの工夫を伝えることができた。最終日までたくさんの方に支えられ、知識を与えてもらったとても有意義な学会となった。



写真6 ポスター発表

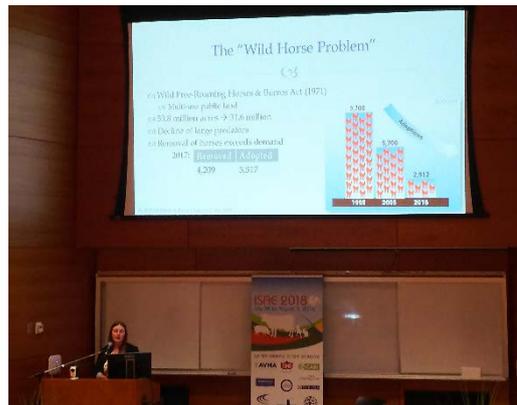


写真7 口頭発表

## 6. その他 (特記事項など)